

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 浜松丸塚東教室			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日 ~ 令和8年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日 ~ 令和8年1月16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有を積極的に行っている	・リトムを通して保護者の方の不安感や悩み事などが掛かれている時には、送迎時にお話をしたり、事業所に来ていただいて、お子さんの様子を見ながら面談を行ったりしている。	・引き続き、面談を取り入れていくと共に、いつでも、お子様の様子を見に来ることができる環境、職員体制を整えていく。
2	季節を感じるイベントや放デイとの交流の機会を設けている。	・祝日、平日と関わらず、どの曜日に通っている子でも季節の行事に参加できる日程を組んでいった。 ・祝日には、小学生と夏祭りや運動会を行い、『お兄さんお姉さんと遊べて楽しかった』『自分も年下の子に優しくしていきたい』という気持ちが芽生えるきっかけをつくれている。	・今後も祝日、平日と関わらず、併行通園のお子さんもこばんで季節の行事に触れられる機会を設けていきたい。
3	職員間の雰囲気が明るく、連携しやすい	・一日の振り返りの中で、困ったこと→解決するための支援方法を共有し合い、その場にいなかった職員にも翌日共有するようにしている。 ・朝礼、終礼関わらず、リトムをチェックした職員を中心に、保護者の様子やお子様の様子を共有している。	・支援内容を一緒に振り返りながら、職員間で「こうしてみよう！」という意見が出しやすい環境を整えていく。 ・どの職員がどのような役割を抱えているのか明確化しながら、いつでも「手伝ってほしい」「これやっておくよ」と言い合える関係性を築いていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流会の場が少ない	・個別での面談は積極的に行っている中で、保護者間での交流をする機会がなかなか設けていない。	・保護者の交流会や座談会を企画し、同じ悩み事を持った方同士での交流が出来る機会を設けたいと計画している。 ・仕事をされている方も多いので、どのような開催方法が良いのか保護者の声も聞いていきたい。
2	災害時の情報共有	・安全計画を作成のもと、防災訓練等定期的に行っているが、各種マニュアル等の策定後の周知がなかなかできていない。	・防災訓練の連絡などをきっかけにどのようなマニュアルの元、行っているのかを伝えていく。 ・個人面談にて気になる対応方法などがないかお話しできる時間を設けていく。
3	活動の様子の紹介	・現在、SNSやえんフォトを使用しての紹介となっている。SNSだとお子様の表情が見えにくかったり、えんフォトだと少し時間が空いてしまったりする。	・紙媒体も使用しながら、無理のない程度で保護者に伝える機会を増やしていきたい。また、SNSの更新頻度を上げていきたい。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 浜松丸塚東教室		
○保護者評価実施期間		令和8年1月5日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)
			12
○従業者評価実施期間		令和8年1月5日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
			5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実と多様な体験機会の提供	季節行事や制作活動を計画的に実施しています。 学年や発達段階に応じた活動内容を工夫しています。 成功体験を積めるように段階的な支援を心がけています。 児童の意見や興味関心を取り入れながら活動を構成しています。	活動のねらいや目的をより分かりやすく発信します。 活動内容の意図や成果を保護者様に伝える機会を増やします。 地域との関わりや体験活動の機会を計画的に検討します。
2	職員間の連携と情報共有体制の充実	終礼や記録を通して児童の様子を共有しています。 個別支援計画に基づき、支援内容を職員間で確認しています。 必要に応じて役割分担を行い、柔軟に対応しています。 相談には迅速に対応できる体制を整えています。	定期的なケース検討の時間を確保し、支援の質向上を図ります。 支援内容の記録方法の工夫を進め、共有の精度を高めます。 専門性向上のための研修機会を計画的に設けていきます。
3	安心して過ごせる環境づくりと安全管理体制	整理整頓や清掃を日常的に行い、安心できる環境を整えています。 安全計画を作成し、緊急時対応の確認を行っています。 定期的な避難訓練を実施しています。 ヒヤリハット内容を共有し、再発防止に努めています。	安全点検の定期的な見直しを行います。 訓練内容や安全体制を分かりやすく発信します。 保護者様への説明機会を設け、安心感を高めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	より個別性を高めた支援体制の充実	・基礎的生活力や集団適応への支援ニーズが高まっていること ・活動内容や利用状況により、支援の密度を調整する必要があること ・発達段階に応じたきめ細かな関わりが求められていること	・学年別の支援体制を再整理し、役割分担と支援基準を明確化します。 ・個別支援計画の質を高めるため、アセスメントの精度向上に取り組みます。 ・基礎的生活スキルや情緒の安定を支える支援力向上のための研修を計画的に実施します
2	落ち着いて過ごせる空間づくりの工夫	・活動内容や人数によって空間の使い方が変化すること ・年齢や発達段階により過ごし方の違いがあること	・年間を通じた環境整備計画を策定し、定期的な見直しを行います。 ・視覚的配慮や空間構成の工夫について職員間で共通理解を図ります。 ・安心して過ごせる環境基準を整理し、継続的な改善に取り組みます。
3	振り返りや事例検討の更なる充実	・日々の業務の中で、より深い検討時間の確保が難しい場面があること ・支援内容の共有が中心となり、検討の時間が限られることがあること	・現在実施している振り返りの質を高め、検討内容を支援に確実に反映させます。 ・事例検討の視点を整理し、より多角的な分析ができる体制を整えます。 ・検討内容を記録として可視化し、組織として共有・蓄積していきます。